

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 11月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470105184		
法人名	社会福祉法人 広島光明学園		
事業所名	グループホーム光明早稲田		
所在地	〒732-0062 広島県広島市東区牛田早稲田二丁目4番15号 (電話) 082-222-7002		
自己評価作成日	平成30年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3470105184-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年11月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

事業所の介護理念でもある家庭的な雰囲気を大切にし、利用者様が安心してゆっくりとくつろげるような場所の提供ができるよう努めています。また、地域の行事などに参加し、地域の方々との交流を積極的に図るよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地元の古刹「光明寺」の福祉の心、戦前に町の母子に保育所の開設を源とする社会福祉法人が組織する事業所。この歴史に裏付けされた地域密着、地域に根ざした事業所運営が注目される。理念に「三宝一如」の仏法の教えを引用し、「子どもたち・高齢者・地域の皆様・職員・みんなの家族・光明は一つ」を掲げ、本物志向(Lets work for truth!)の認知症ケアを実現させている。建物は高台の閑静な住宅地の一角にあり、大手企業の社員寮を転用改修し、利用者の住み易さを基本に、町の住民生活の中に、街並み全てを自然な形で融和させている。町の氏神様の境内のすぐそば、町の住民が集う場でもあり、町民の慈愛に包まれて、全てが同じ関係(一如)として、利用者も職員も共に、家族的温もりを感じながら暮らす空気で満たされている。これも法人理念の浸透と体系的な職員教育の結晶であり、家族・来訪者に安らぎと笑顔を誘っている。

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気を大切にします ・地域の人との交流を心がけます ・明るい笑顔を絶やさないうちこころがけます 上記の事業所理念を朝礼時に唱和し、職員全員が常日頃から心がけるよう確認している。また、地域の方にも積極的に挨拶をするように努めている。	法人の理念「三宝一如」に、左記項目の事業所理念を加味して、日々のケアの中に溶けこませている。とくに職員と利用者との関係を「一如」の教えに従って、全て同一とする「家族的な触れあい」と、その中から生まれる「家族の温もりと安心の笑顔」の創出に、みんなで取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	月一回の町内会に参加し、町内の方々と交流、情報把握に努めている。地域行事にも利用者、職員ともに参加し、地域の一員として理解していただけるように努めている。	現在、管理者が町の組長として地域活動に参画している。伝統のある早稲田神社のお祭りでは、お神輿が事業所内敷地に入って、利用者も一緒に「わっしょい」の掛け声を発している。ボランティアも不定期ながら、近くの大学の栄養学科のおやつを試作品を持参頂き試食会を通して交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症カフェや認知症ケアサポートなどの実施で地域の方々に認知症のことを理解していただけるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・開催 1/2か月 町内会長、民生委員、包括支援センター職員、利用者、ご家族様などにご参加いただき、様々な視点からのご意見を賜りながらサービスの向上、事業所の理解などに努めている。	会議は定期的開催され、地域の住民関係者と関連行政機関の出席者が多いのが特徴。地域に馴染んだ議事進行でこの町で共に暮らし「みんなでこの事業所を守る」という意思統一が図られている。加えて、母体の「三宝一如」の理念を具体化して討議されサービスの向上に反映させている。	充実した会議運営であるが、核となる本人・家族の出席が少なく、現状ではこの討議内容が議事録として家族に届けられていない。今後の改善課題の情報共有のためにも、特に遠隔地に在住の家族を中心に、この会議録の送付についての対応が望まれる。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市介護保険課、東区健康長寿課、広島市総合社会福祉センターなどに相談や連絡をとり、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町との連携は、法人として統括して行っている。事業所は、認知症サポーターの資格を持つ職員により、法人内の他のサポーターと共に地域の小・中学校へ「認知症への理解」の講師を務めたり、グループ内職員による寸劇など、市町との協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関するマニュアルを作成し、法人全体での研修や実践を通じて学習を継続し、身体拘束を行わない介護をおこなっている。また、今年度より事業所内で1回/3か月の身体拘束に関する勉強会を行っている。	玄関も開放され、見守りを重視している。年2回の法人内研修と3ヶ月ごとに事業所内研修を行っている。平素より利用者の行動を把握し、センサーマット等も使用していない。さらに、スピーチロックにも留意し、時流に応じた身体拘束防止への職員教育の強化を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関するマニュアルを作成し、法人全体での研修や実践を通して学習を継続し、職員全体に虐待防止を周知徹底している。また、1回/3か月の虐待防止の勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	包括支援センターの職員を通じて権利擁護における理解を深め、必要に応じて助言を頂きながら制度の活用が適切に行えるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者のご家族に同席して頂き、読み合わせを行っている。重要事項などポイントとなる箇所や疑問点がある時はご納得頂けるまで説明し理解していただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先にご意見・ご要望を承る為の用紙を設置し、様々なご意見を頂けるような取り組みを行っている。また、ご家族が来設された際などは積極的に関わりを持ち管理者・職員に対して気軽に意見や要望が伝えられるような関係性づくりに努めている。	家族の来訪時など、利用者を中心とした意見・要望の把握に努めている。現状では、家族からの具体的意見・要望は聞かれない。毎月の報告書の中でも意見・要望を汲みとる体制を維持して、家族と共に「温かく、笑顔の生れる家庭的雰囲気」の事業所運営を実現させている。	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月法人全体の職員会議や事業所内のミーティングを行い、様々な意見や提案を聞くための機会を設けている。また、年2回の管理者による個人面談を行い、個別での意見聴取ができる機会も設けている。	職員の研修参加や資格取得のための支援と働きやすい環境整備が充実している。職員の意見・要望は会議の公的な場面のみならず、日々の個人的ふれあいの中から導き引き出している。併せて、環境整備・業務改善への意見要望を積極的に取りいれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が働きやすい環境を作る為、公休以外の希望する休みに配慮し、個別の意向に沿った休日確保ができるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員が希望する研修には参加出来る環境づくりを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所との交流を深め、情報交換や勉強会などによりサービスの質向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始の段階から利用者本人と積極的なコミュニケーションを図り、関係性を深めることで不安の軽減や安心感の確保ができるよう努めている。また、ご要望には可能な限りお応えできるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始の段階からご家族に以前の利用者本人の生活歴などの聞き取りを充分に行ない、ご家族が感じる不安の軽減やサービス上でのご要望に可能な限りお応えできるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス利用開始の段階で利用者本人とご家族からの聞き取りを充分に行ない、ニーズを把握したうえで職員全体でアセスメントを行いながら必要としている支援の見極めに努めている。また、必要に応じて他のサービス利用の検討も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	アセスメントシートや日々の利用者との関わりの中で以前の生活歴を把握し、生活をしていくうえで出来そうなこと(家事や裁縫など)を職員と共に行い、一方的な関係にならないよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様日々のご様子を面会時や毎月郵送させて頂く現状報告書にてお伝えし、本人様とご家族の関係性が途切れないように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近所に長く住んでこられた利用者も多いため、地域行事に可能な限り参加することで馴染みの関係が途切れないように努めている。	生活歴から趣味、友人関係など把握し、その延長線上に支援を展開している。利用者も町内の在住者が多く、地域行事への積極的参加で関係維持を図っている。ある利用者は、定期的に墓参を希望され、緩和ケアとして介護計画に組み込んだ事例やリロケーションダメージの解消にも留意している。	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事や体操、レクリエーションの時間を通じて利用者同士が関わり合いを持つよう努めている。また、家事などを利用者同士で協力、分担して手伝って頂くことでより深く関わり、支え合える関係が作れるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も関係性を大切にするため、日々の関わりから気軽に相談をして頂けるような関係性を作れるよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の利用者との関わりの中で積極的にコミュニケーションを図り、本人様の思いを引き出せるよう努めている。また、関わりの中での気づきを職員間で共有し支援につなげていけるよう「気づきノート」を活用している。	アセスメントも兼ね、日々の利用者の暮らしの中から意向を把握し、職員みんなで「気づきノート」に記録し、その気づきをケアの中に普遍化させている。利用者の意向・要望の把握が難しい場合は、家族から情報聴取し、検討を経て各自の意向に添っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントシートの活用や利用者、ご家族からの聞き取りを行い、これまでの記録を振り返りながら経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の申し送りや毎月のミーティングなどを活用し、職員間の情報共有を密接に行ないながら継続した現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングシートを活用し、ニーズの把握、統一した日々の支援が行えるよう努めている。また、課題分析を継続して行いながら関係者の意見やアイデアが適宜反映できるような環境づくりに努めている。</p>	<p>モニタリングを毎日、一行書きとしてシートに記録し、本人・家族の意見を核に、「気づきノート」も参考にしながら、関係者が毎月カンファレンスを開催し、実態に即した計画を半年ごとに作成している。状態の変化がある場合は、評価、見直しを適宜現状に沿って修正立案している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録だけでなく日々の申し送り、「気づきノート」などを活用しながら職員間で積極的な情報交換・共有を行い、実践や介護計画の見直しが随時行えるよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>様々なニーズに柔軟な対応ができるように事業所だけでなく、地域やその他外部との幅広い交流を模索しながらサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>認知症カフェや地域行事に積極的に参加など、様々な地域資源を活用しながら本人様の生活がより豊かになるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人様やご家族が希望されたかかりつけ医と適時相談を行いながら関係を構築し、適切で迅速な医療の提供が行えるよう努めている。</p>	<p>利用者や家族の希望で、従来のかかりつけ医に通院する人もいるが、多くは事業所のかかりつけ医（内科・外科）の月2回往診を受けている。事業所の協力医は24時間オンコールで待機しており、法人の看護師と共に支援している。必要時は、町内の他科への受診にも職員が同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の申し送りや「気づきノート」などを通じて情報共有を密接におこない、個々の利用者に応じた医療・看護が適時提供できるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に利用者の状態を詳細に伝達し、安心して治療し早期退院ができるよう努めている。また、入院中は病院関係者からの現状報告や入院先への訪問などを行い、随時治療経過の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	サービス利用開始前に終末期の在り方について利用者・ご家族の意向、かかりつけ医の意見などを聞き取りし、方針を共有している。	法人の方針として看取りは行わない事を、入居時に家族に説明を行い了解を得ている。重度化した場合は、家族の意思を確認し、かかりつけ医の指示の下、他の医療機関の紹介と法人内の関係施設等に対応している。職員は予防に重点を置き、事業所の方針に従った支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日々の業務の中で、適時看護職員により応急手当や初期対応等の助言・訓練を行っている。また、法人内の研修を通じても同様に行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	日勤帯、夜間帯を想定した消防訓練を年2回以上行い、消防署の職員立ち合いの訓練を年1回行っている。地域の方や隣接する施設にも協力を頂き、災害時における協力体制の構築に努めている。	年2回、昼夜間帯を想定して利用者と一緒に避難訓練を実施している。地域への一次避難場所として、事業所の交流室を開放し、西日本豪雨災害では実際に5名ほど避難された事例がある。食料備蓄もローリングストック法で適切に確保されている。	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常日頃から利用者の人格、プライバシーの尊重に心がけ、職員間で意識しあえるように努めている。限られたスペースの中でも可能な限りプライバシーが確保できるよう対応を工夫している。また、法人内でもプライバシー保護の研修を行っている。	法人内で、プライバシー保護、権利擁護等の研修が開催されている。職員は平素より接遇に留意し、その深化の検証を重ねている。「ちょっと待って」とか大声でのトイレ誘導など言葉かけに、職員間で注意しながら、人格を損なわない対応に心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者との日々の関わりを密接に行ない、信頼関係を築きながら本人様が気兼ねなく思いや希望を表せる関係性づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員間の情報共有を積極的に行ない、個々の利用者の日々の状態を適切に判断しながら、利用者の希望や状態にあわせた支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人様の意思を尊重して支援している。また、本人様の選択が難しい場合でもこれまでの生活歴やご家族様からの聞き取りによりニーズを把握し、その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	フロア備え付けのキッチンで利用者に近い場所で調理を行い、音やにおいを感じて頂くことで準備段階から食事を楽しんで頂けるよう努めている。また、野菜の皮むきや片付けなどを手伝って頂き、食事を通じて生活意欲を向上して頂けるよう支援している。	食材は、専門業者に発注している。年2回(敬老の日、新年)手作りの松花堂弁当を、誕生日は手作りケーキでお祝いが利用者に好評である。何よりも食事環境が和やかで、利用者同士の楽しい会話がとても温もりを感じる。時には外食でファミレスに出掛ける等、職員は工夫しながら支援している	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>日々の食事量や水分量を記録し、個々の利用者の状態や習慣に合わせた食事や水分が適切に提供できるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、個々の利用者の状態に合わせた口腔ケアを行っている。また、嚥下や食事量の変化を観察し、適時協力歯科医への相談・訪問診療を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を活用し、個々の利用者の排泄パターンを把握するとともにそれぞれに合わせた排泄の支援に努めている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンをチェックし、尿意・便意を察知して適切に対応している。このホームは、各居室にトイレと洗面所があり、プライバシーを保って、何時でも安心して使用出来る利点もあり、潜在能力を維持し、自立につながっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表を活用し、個々の利用者の排便状況の把握に努めている。便秘傾向の方には果物や乳製品の提供を行ったり、かかりつけ医相談のうえで状態に応じた下剤の処方をして頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者本人の希望、心身状態に合わせて、シャワー浴・足浴・清拭・同性介助などその都度本人様の希望に応じた支援を行い、入浴を楽しんで頂けるよう努めている。</p>	<p>利用者の生活習慣に応じた入浴支援を行っている。皮膚疾患に配慮して、入浴剤の使用を控え、ボディークリームは手に付けて洗う、入浴後はローションを使って皮膚の保湿につとめている。入浴環境も浴場との温度差＝ヒートショックにも配慮し、入浴を楽しめるよう設備を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	利用者本人の希望、心身状態など に合わせ、その都度休息や安眠を して頂けるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。</p>	看護職とかかりつけ医、薬剤師が 情報共有し、介護職員に薬の必要 性、危険性などについての説明を 適時行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	利用者個々の希望や生活歴の把 握に努め、運動、家事、歌などそ れぞれに合わせた役割や楽しみご とを見つけ活気のある生活を送っ ていただけるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	利用者個々の希望に合わせ、買 い物、散歩、行事参加などの外出 支援を行っている。また、ご家族 の協力を得て外食や帰宅を気兼ね なくできるよう支援している。	高台の閑静な住宅地の澄んだ外 気に触れて、近くのお店に買い 物や散歩に出掛けている。外出 の困難な人は、眼下に都心の賑 わいが望める2階の広いベランダ に出て、散歩をしている。かつ て公民館で講師をしていた利用 者が、公民館に出掛けたり、認 知症カフェに参加の事例もある。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	利用者の状態に応じてお金を 持って買い物ができるよう支援 している。		

自己評価	外部評価	項目(1Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者の希望に応じてご家族や知人など大切な人とのやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>フロアに利用者と職員で共同制作した作品を掲示し、季節感を感じて頂けるような工夫をしている。また、ソファを設置し希望に応じてゆっくりと過ごして頂けるような空間を確保している。</p>	<p>清潔で空調設備も完備。食後のコーヒータイムには、職員と住人の和やかな団らんのひと時がある。賑やかな心地良さやみんなと一緒にいる安心感が生まれる共用空間の整備である。各ユニットには、ピアノが置かれ、職員や利用者、時には、法人代表が訪れ演奏し、みんなで楽しむ事もある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル席を複数配置し、個々の利用者が思い思いの場所で過ごせるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ベッドなどの備え付けのもの以外のタンスや布団、置物などは使い慣れたものや馴染みのものを持ち込んで頂き、居心地よく安心して過ごして頂けるよう工夫している。</p>	<p>各居室にトイレと洗面所を設置して、清潔とプライバシーを守っている。ベッドの布団の温もりが伝わる自分なりの生活空間に、各人の生活の動きに応じた調度品を配置して、日々の安らぎを醸し出している。この安らぎと笑顔が、このホームの家族的温もりのある共同生活の源泉となっている。</p>	<p>補足事項：左記の各居室へのトイレと洗面所の配置が好評で、家族によるホーム選定の決め手になった事例が多数ある。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者個々の残存機能の把握に努め、居室の位置などを配慮している。また、通路などの歩行スペースに手すりを設置し、フロア内を安心して歩行できるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	3つの理念を作り上げ、毎朝復唱している。また、それに伴い、取組みを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	法人全体で、地域貢献に取り組んでいる。地域行事には常時参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事等の参加を基に、法人全体で話し合いの場を作り、取り組んでいる。また、事業所に所属している認知症アドバイザーが地域の認知症サポーター養成講座に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回実施しており、民生委員をはじめ地域の方に参加して頂き、報告、意見等の話し合いを行い、サービス向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センター等にも協力して頂き、常に連携が取れる体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>当施設では、拘束が必要となる利用者はいらっしゃらないが、今年度から年4回、事業所ないで身体拘束の勉強会を開催し、身体拘束の排除に取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修、施設内研修に参加し、職員一同虐待の防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修、外部研修等で学ぶ機会を設けています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>常にご家族様と話し合いをし、理解、納得に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族様に運営推進会議や行事等の参加協力をお願いし、外部者へ表せることで、サービスの向上に反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>事業所会議、担当者会議、個人面接等を実施し、利用者様のサービス向上、運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意識確認、話し合いの場を設け、各自の向上心を高めるように努め、環境等の整備に取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>事業所会議、施設内研修等を実施し、職員の育成に努めている。随時個別による面談を実施し、本人のモチベーションを図るよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修等を機に他の施設（同業者）と交流することにより、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前に面接を行い、本人の要望、不安を受け止め、本人の信頼を得るよう努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面談の際にご家族の要望、不安、要望等に耳を傾け、密な関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人のADL, QOLを見極め、ケアプランを作成し、実行するよう努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気を大切にし、ご利用者様が安心して楽しく過ごして頂けるよう努力している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>行事等にも家族様に積極的に参加して頂き、職員、家族様が関わることで、絆を深めるようにしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族様と連携し、知人の面会や外出の機会を設けて頂くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で過ぎて頂ける時間を多く作るように心がけ、短くないレクリエーション等を通して利用者様同士の関わりが築けるに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	地域包括支援センター、居宅支援事業所、民生委員と連携を取りながら関係が持続するようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の思いや希望を少しでも叶えられるようケアマネジャー、担当者を中心に組み立て、ケアプランに取り入れています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時に利用者様が今まで使用されていた物を入所後も使用して頂き、これまでの生活環境に少しでも近くなるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様の日常の変化等を個人記録に記載し、現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様の要望を取り入れた介護計画を立て、いつでも職員が確認や意見交換できるよう個人ファイルや連携ノートを使い、柔軟な介護計画を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者様一人一人の個人記録を行い、日々の生活や本人の状況を具体的に記録し、情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>法人行事、地域行事の参加や外食を目的とした外出行事等を企画、実行し、家族様や利用者様の要望を含めた支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議等で民生委員、地域住民との情報交換を行うことによって地域の一員となって暮らして頂くように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様、家族様の希望されているかかりつけ医を含め、地域の協力医療機関で適切な医療が受けられるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の利用者様の状態等を看護職員に伝え、介護職員と連携を取り、体調管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はお見舞いや医師の話を通じて、ご家族と連携を取り、また、医療機関の地域医療連携室とも情報支援、相談に努めている。同時に入院者がいない場合でも連携するように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所前から家族様と話し合い、状況説明も細かくしている。また、かかりつけ医に相談を密に行い、家族様の意思を尊重した上で、どこまで事業所として対応できるか、他の関係者とチームとなって支援するように支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを作成し、迅速に対応できるよう努め、特に夜勤帯での急変に備え、利用者様の状態に合わせて定期的に訓練し、実践力を身に付けるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害防止マニュアルを作成し、全職員が対応できるようにしている。また、年4回避難訓練を実施し、非常時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人一人を尊重し、尊厳を守っている。また、個々に合わせた声掛け等の対応を心掛けている。しかし、声掛けのタイミングや内容に気配りが不足している場合がある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が希望や要望が気軽に言えるように努めている。また、意志が伝えられにくい利用者様には職員の連携によって、本人に合わせた支援ができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の生活するペースを大切に、そのことを職員一同情報を共有し、希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご利用者様が希望される衣類を身に付けられるよう確認して頂くよう支援している。また、散髪のボランティアを施設に招き、整容にも気を配っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	外出行事を取り入れ、普段にないメニューの食事を提供することを心がけている。また、利用者様の誕生日には、当事者の好きなメニューを提供する等、喜んで頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個人の食事の記録を毎日行い、体調管理に努めながら、一人ひとりに応じた支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後には個々の歯磨きの支援を行い、口腔ケアをしている。また、訪問歯科のサービスを活用し、必要があれば歯の治療を実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を取り、個々の排泄パターンを把握し、日中、夜間ともトイレ誘導などにより、自立に向けた支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>主治医の指示の元、整腸剤を内服して頂き、必要とあれば、看護師の対応により、便秘の改善に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の状態に合わせて、週に2回の入浴を実施している。また体調を崩し、入浴できない時は清拭をし、清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一日の生活リズムを作り、夜には自然 に睡眠ができるよう支援をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	<p>看護師が中心となり内服薬の管理をし ています。また、誤薬がないよう服薬 マニュアルや個々の薬の情報を作成 し、全職員周知徹底し、服薬の支援、 症状の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食事準備、掃除、洗濯物をたたんで頂 いたり日常の生活の中での役割をお願 いしている。また、散歩も取り入れ、 気分転換に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。</p>	<p>近隣に散歩に出たり、地域の行事等に 参加し、家族様も一緒に参加できるよ うに支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持した り使えるように支援している。</p>	<p>家族様の了解の下、個々でお金を所持 して頂いている。又職員も、それにつ いて理解し支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持たれている利用者様は、個々で管理して頂き、職員も気に掛けることで、安心して使用して頂けるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	照明はより明るい蛍光色を設置しており、部屋を明るくしている。また、テレビ、ソファを置き利用者様がくつろいで頂ける雰囲気の工夫をしている。また、行事写真や利用者様の作成した作品を壁に飾り、居心地よく過ごせるように努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファ、テレビを設置し、利用者様がいつでも自由にくつろげるスペースを作っている。また、利用者同士が自由に動けられるように努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで利用された馴染みの物を持ってきて頂き、少しでも自宅と同じような雰囲気作りを行い、居心地よく過ごして頂くように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者の状態、状況に合わせ、いつでも対応できるように支援をしている。		

V アウトカム項目(1Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(2Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明早稲田

作成日 平成31年 1月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	利用者または家族の参加が少ない為、運営に対する率直な意見・要望を聴く事ができていない。	利用者または家族に参加して頂き、様々な意見・要望を頂きながら事業所運営に反映させていく。	会議開催を通知し、参加のご協力をお願いする。また、家族との交流機会を増やす取り組みを検討する。	1年以内
2	35	今後は様々な災害が想定される為、それぞれのケースに応じた自主防災に努める必要性がある。	火災・地震・水害などを想定した訓練を適宜行い、事業所全体での防災意識向上に努める。	月1回の訓練を実施する。また、その都度課題を整理し、事業所全体で共有できる仕組みをつくる。	1年以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。